

3 2. 鹿児島県におけるてんかん地域診療連携体制整備事業（2024 年度）

鹿児島大学病院てんかんセンター 花谷亮典

1. 概要

鹿児島県てんかん治療医療連携協議会構成委員 12 名
鹿児島大学てんかんセンター 医師 2 名（センター長、副センター長）
鹿児島医師会（常任理事）
鹿児島県精神科病院協会（理事）
てんかん協会鹿児島県支部
鹿児島県看護協会
鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会
鹿児島県精神保健福祉士協会
鹿児島県精神保健福祉センター（所長）
県立保健所長会（始良保健所長）
鹿児島県教育庁（保健体育課長）
鹿児島県くらし保健福祉部（精神保健福祉対策監）
事務局：鹿児島大学てんかんセンター（拠点病院）
鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課

2. 活動状況

2024 年度の計画に基づいて、以下の活動を行った（3 月分は予定）。

1) てんかん診療についての普及啓発

①啓発活動

パープルデー：てんかん協会鹿児島支部会員・鹿児島大学てんかんセンターコーディネーターらによる街頭啓発活動、および鹿児島大学てんかんセンター医師による Web 講演会を開催予定。

②行政職員研修

看護師、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務職などの行政職員を対象に、てんかんに関する講演研修を行った。

③医療者向けセミナー

製薬会社や医師会などと連携し、医師や薬剤師を対象とした研修会を開催した。

2) 県てんかん診療拠点機関の活動

①データの蓄積

②研修活動

院外医師・コメディカルを含めたハイブリッド形式の定期カンファレンスを開催

③啓発活動

医療者に対するセミナーの提供、市民向けの啓発セミナー

④コーディネーター研修支援

認定てんかん診療支援コーディネーター取得のための支援活動を継続している。

⑤県内患者数の把握・分析

⑥県内てんかん診療情報の更新および蓄積

3. 課題解消に向けた取り組み・今後の計画

1) 診療拠点機関のてんかんコーディネーターによる相談・診療連携業務

てんかん診療支援コーディネーターの配置や育成に関わるコストの問題は、各県単位では困難。コーディネーターに興味を持つような啓発を継続。

2) 県内患者の把握

自立支援申請数・地域精神保健福祉資源分析データベースをもとに、県内医療圏ごとのてんかん患者数推移を把握。

3) てんかん診療ネットワーク情報の更新

厚労相研究班により作成された情報の更新作業を、県医師会と共同で継続する。

4) 行政ネットワークとの連携

研修会を通して、窓口となる職員や福祉関係の職員がてんかんに関する知識を習得できるよう、啓発活動を通しててんかんに関する知識や意識の共通化を図る。

5) 学校現場との連携

特に小児患者において学校現場との連携は重要であり、その機会を設けるよう教育関係部署に働きかける。